

【担い手育成への取組】 利用間伐グループの発進

東磐井地方森林組合では、利用間伐へ積極的に取組むため、林産販売グループの大東地区作業班の編成変えをし、11月7日に作業班員と組合職員の顔合わせと意見交換を行いました。

今回の編成変えは林産担当作業班の次の2つの課題を解決するため、森林組合内のプロジェクトチームにより提案、実施されたものです。

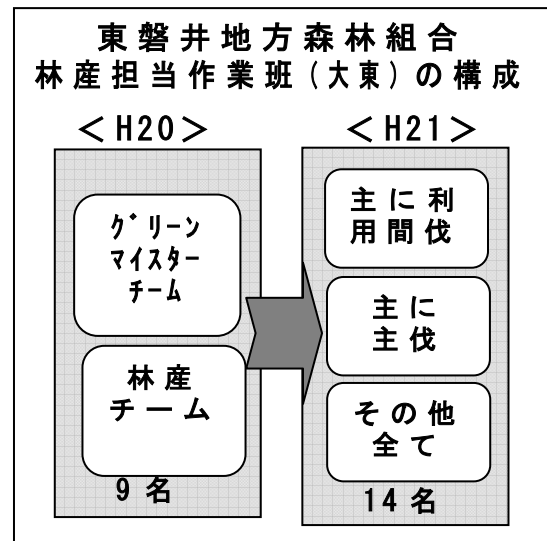
班構成はこれまでの2グループの作業班に、新たに「利用間伐グループ」を加えた3グループ体制としました。

<作業班の2つの課題>

- ①主伐中心に携わっているため利用間伐が後回し
- ②グリーンマイスターチームとその他の林産作業員を組み合わせ稼働しているため、班ごとのコスト分析がやりにくい

編成変えに伴う「利用間伐グループ」の設置により、①主伐・間伐作業班を分け、利用間伐の効率化と実施面積の増、②作業日報の記帳による

作業効率のチェック体制の構築などが一層進むことが期待されています。



平成21年1月の本格稼働に向け、作業日報の記帳方法、管理の仕方などの勉強会を行い、スムーズな移行ができるよう森林組合の林産販売グループとともに準備を進めていく予定です。



<組合長と意見交換を行う新メンバー>